

## 事故事例に学ぶ

19

### 左折時の事故



### 交差点左折の際、高齢者の自転車と接触

#### 事故の概要

#### 発生状況

日時：平成15年1月某日午後5時45分頃

天候：曇

発生場所：横浜市港北区内の交差点

#### 道路状況

片側2車線の信号機のある交差点

#### 事故の当事者

運転者A（大型トラック）：47歳、男性

無職B（自転車）：79歳、男性

#### 被害状況

A：損害なし

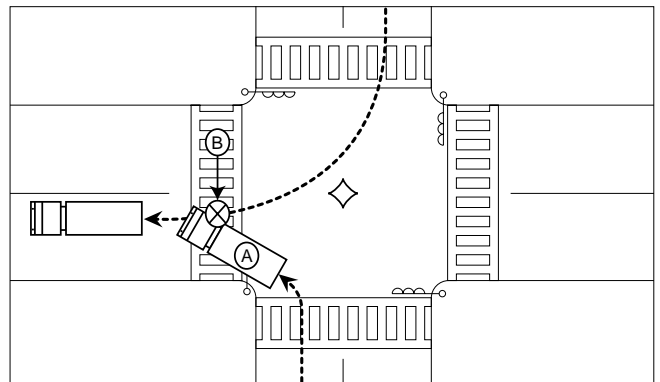
B：右肩甲骨骨折、腰部打撲等（全治3か月）  
自転車小破

### 事故状況

川崎市内の運送会社に勤めるAは、普通および大型トラックに22年の運転歴があり、過去に一度だけ交通事故を起こしているが、ここ15年間は無事故無違反の模範運転者であった。

その日は、川崎市内の倉庫で電化製品を積み込み関西の販売会社へ搬送する途中で、少し早めの出発をし、いつもの運行コースを走行して事故現場となった交差点に差し掛かった。

交差点付近は、街路灯の照明はあるものの、日没のため周囲は暗く、また、交通量も集中していた。



Aは左折するためウィンカーを出し、同じく左折する前車の普通トラックから7～8メートル離れて追従した。交差点に進入し左にハンドルを切ろうとしたところ、対向右折車の普通トラックが前車と自転車との間に割り込んできたため、減速・徐行してやり過ごし、その対向右折車に続いて左折しようと加速した瞬間、右横でガシャンという音と同時に、車体に微かな衝撃を受けた。

慌てて急ブレーキをかけ降車してみると、車体右横の運転席より少し後方に被害者Bが自転車とともに倒れていた。

#### 事故の原因

Aが運転していたコースは月に2～3回も往復している走り慣れた道で、道路・交通状況は熟知していましたが、事故を惹き起こした原因として、

- ①左折する前車のトラックとの車間距離が不十分なところに、対向右折車のトラックが

割り込んできたため、注意力がトラックの方に集中した。

②対向右折トラックに続いて進行しようと、十分な車間距離を取らずに、かつ横断歩道左右の安全確認を怠った。

③割り込んできた対向右折車が横断歩道をスムーズに通過したことで、横断歩道上に自転車、歩行者等はいないと思い込み、自ら安全確認をすることを怠った。

等が挙げられます。

一方自転車のB側にも、横断歩道を渡っているのだからトラックは当然停まってくれるだろうと思い込み、注意することなく車の間を通り抜けようとしたことが挙げられます。

#### 事故防止と安全指導

①交差点を左折するときは、信号機の有無にかかわらず右方から進行する車両、左右から横断する歩行者や自転車に注意をする。

②左折を終え交差点から出ようとするときにも、横断歩道およびその付近を左右から横断する歩行者、自転車に「最も注意」して「徐行」進行する。

③日没時は危険を感じて反応するまでの時間が昼間の2倍以上かかるといわれているので、そのためにも早めの「安全確認」をする。

#### 交通弱者の行動特性と保護

平成14年度(15年1月末現在)の当組合の死亡事故件数・死者数は、16件・16人ですが、交通事故が多発する交差点およびその付近では11件で約7割、横断歩道上では6件と約4割の高い割合で重大事故が発生しています。

そしてほとんどが、バイク、自転車および歩行者がらみの事故で、被害者は小学生から高齢者まで幅広い年齢に及んでいます。

トラックドライバーは、交通弱者の年齢層別の行動特性を良く理解し、安全運転により事故を防ぐ努力が必要です。その主な行動特性は、次の通りです。

<p>(1) 低年齢層 (小学生以下) の行動特性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・判断能力が低く、平気で車の前後を横切ったり、道路に急に飛び出すことがある。</li> <li>・横断歩道さえ渡れば安全という思い込みがある。</li> </ul>
<p>(2) 高齢者の 行動特性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視力や聴力の衰えから車が接近する音やライトに気付かなかつたり、クラクションが聞こえないことがある。</li> <li>・歩行速度が遅く、敏捷な動きがとれないことがある。</li> <li>・車が近づいているのに、そのスピード判断が苦手で、大丈夫と思って車の前に飛び出すことがある。</li> <li>・赤信号でも横断するなど交通法規を守らないことがある。特に歩道橋の下などは、歩道橋の上り下りが面倒なため、つい車道を直接横断しようとする人がいる。</li> </ul>
<p>(3) バイク・ 自転車の 特性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキや道路のちょっとした凹凸でバランスを崩すことがある。</li> <li>・自転車は一方通行路などを逆行したり、夜間は無灯で走るなどマナーや交通ルールを無視することがある。</li> <li>・バイクは、他車の死角に入りやすいので、その存在を見落とすことがある。</li> <li>・進路変更を頻繁に行ったり、一時停止を無視するなどの走行をしがちである。</li> </ul>

4月5日から1週間、「新入学(園)児を交通事故から守る運動」、5月11日から10日間、「春の全国交通安全運動」が行われます。交差点の右左折時における交通事故防止をはかるために、特にバイク、自転車、歩行者等の交通弱者に細心の注意を払うよう安全運転のご指導をお願いします。